

壺、御師について知ろう

御師がどのような役割をしていたのか調べてみましょう。

○参考資料

- ・『御師』【L174/オ】 大林組広報室／企画
- ・『参宮の今昔』【L174/オ】
大西源一／著 神宮司庁教導部
- ・『伊勢二千年ものがたり
お伊勢さんと伊勢のまち—神宮鎮座から現代まで』
【L243/イ】
乾淳子／著 伊勢志摩編集室
- ・『伊勢市の民俗』【L380/イ】
伊勢市民俗調査会／編著 伊勢文化会議所
- ・『伊勢信仰と民俗』【L174/イ】
井上頼寿／著 神宮司庁教導部
- ・『伊勢の文学と歴史の散歩』【L902/ナ】
中川焯梵／著 古川書店
- ・『門前町』【L290/フ】
藤本利治／著 古今書院
- ・『宇治山田市史 上』【L243/ウ/1】
宇治山田市役所／編纂 宇治山田市役所
- ・『伊勢市史 第3巻 近世編』【L243/イ/3】
伊勢市／編集 伊勢市
- ・『歴史読本 特集 神々の聖域伊勢神宮の謎』
(1987年3月号)【L170/レ】
／新人物往来社
- ・『続々三重の歳時記』【L386/ナ/3】
中野イツ／著 光書房
- ・『三重県郷土史』【L201/オ】
大西源一／著 三重県警察部
- ・『旅の民俗と歴史5 伊勢参宮』【L290/ミ】
宮本常一／編著 八坂書房

式、現在も残っている御師邸は？

～山田編～

- 福島みさき大夫の黒門 ※市有形文化財
移転前：八日市場町永井病院付近
現在：神宮文庫黒門
- 葉山大夫邸門
現在：神宮徴古館門
- 龍大夫邸跡
現在：大豊和紙工業株式会社の敷地
- 三日市大夫次郎邸跡
現在：伊勢税務署付近
- 丸岡宗大夫邸
※国指定文化財、唯一現地に残る御師邸

～宇治編～

- 太郎館大夫邸門
移転前：浦田町交差点付近
現在：神宮祭主職舎門
- 浦田大夫邸門
現在：神宮少宮司職舎門

◎上記で紹介した他にも御師邸跡などがありますので、ぜひ調べてみてください。

※参考資料

- ・『郷土史草 第50号』【L243/イ/50】
伊勢郷土史草編集委員会／編
- ・『伊勢の町と御師-伊勢参宮を支えた力-
第13回特別展示』【L174/イ】
伊勢市教育委員会／編・出版

参，御師の一覧が載っている資料

- 『神宮御師資料 外宮篇 1～4』
【L174/ジ/1～4】
皇學館大学史料編纂所/編
皇學館大学出版部
- 『神宮御師資料 内宮篇』【L174/ジ】
皇學館大学史料編纂所/編
皇學館大学出版部
- 『神宮御師資料 6』【L174/ジ/6】
皇學館大学史料編纂所/編
皇學館大学出版部
- 『伊勢の町と御師-伊勢参宮を支えた力-資料集
御師廃絶 130 年記念シンポジウム』
【L174/イ】
御師廃絶 130 年記念シンポジウム実行委員会
- 『神宮要綱』【L174/ジ】
神宮司庁/編纂 東方出版
- 『宇治郷之圖』【L243/ウ】
伊勢古地図研究会/編
伊勢文化会議所
- 『山田惣絵図』【L243/ヤ】
伊勢古地図研究会/編
伊勢文化会議所
- 『郷土史草 第 17 号』【L243/イ/17】
浜口主一/編 伊勢郷土会

ふるさと文庫とは

伊勢市立伊勢図書館 2 階にある「ふるさと文庫」をご存知ですか？

ふるさと創生事業のひとつとして設置した文庫で、郷土の歴史、文化、産業の資料や郷土著名人の書物など伊勢地域に関する資料を備えています。ふるさと文庫の本や資料は貸出不可、持出禁止になっていますがコピー（白黒）をすることは可能です。



御師(おんし) について調べよう



御師（「おし」とも）というのは、御祈禱師おんいのりしのつづまったものといわれ、神前に祝詞を奏上するものことであるが、参拝者のために、あわせて宿泊の求めにも応じた。

お伊勢参りが盛んになるにつれて、御師の数もどんどんふえ、江戸中期には伊勢で 800 軒にも及ぶ御師邸があったといわれている。

（下に続く）

なお御師のことを大夫たゆう（太夫とも）というのは、御師が初め神宮の権禰ごんねぎ宜家よりおこり、その権禰宜が五位ごいに叙されていたところから一五位の者を大夫という一生まれの呼び名である。

（「伊勢の文学と歴史の散歩」より）

明治 4（1871）年 7 月、明治政府によって御師は廃止された。

現在、丸岡宗大夫邸の復元や御師邸跡が残っている。



伊勢市立伊勢図書館

指定管理者/株式会社図書館流通センター

〒516-0076 伊勢市八日市場町 13-35
(電話) 0596-21-0077 (FAX) 0596-21-0078

(2018.08)